

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

育てたい子ども像

自ら学び、心豊かにはばたく子 ～者と合意形成を図りながら自ら解を創り出し、生涯にわたって学び続ける子～

グローバル化や多様化が急速に進む現代社会において、子どもたちには郷土三崎を愛し、自己の確立と他を思いやる心情を育ててほしいと願う。

様々な情報が日本だけにとどまらず瞬時に世界中に拡散する現代、自分の考えをしっかりとって物事に対処する力、多種多様な文化や考え方を尊重し、よりよい考えや解決策を創出する力の育成が求められている。そのためには、身の回りにあふれている情報から必要なものを取捨選択し、根拠をもって物事を深く追及する知性を養うことが必要である。また、自己の考えを大切にしながらも多種多様な他者の考えも尊重する心情を育成すること、様々な国に興味を持ち、豊かな国際感覚を養うことが大切である。さらに、日常の様々な問題に積極的に関わり解決しようとする行動力、常に学び続けようとする向上心を身につけさせていかなければならない。

次の変化を予測しがたい時代に対応して生きていくためには醸成された人間関係の中で、主体的にお互いの考えを共有し、高め合いながら対話的に深く学び合い、自らの力で問題解決を図っていくことが求められる。以上を踏まえ、教育課程特例校の指定により新設した「グローバル表現科」の学習を生かしながら、上記の育てたい子ども像にせまっていきたい。

学校経営に関する基本方針

「小規模校であることを『強み』とした学校づくり」

- ①一人ひとりの子どもとしっかり向き合い、授業の質を高めることを教育活動の根幹とする
- ②全教職員の主体性や新たな視点を大切に、創造的な教育が展開できる学校づくりを進める
- ③基本的な生活習慣の定着とお互いの人権を尊重する学級づくりを進める
- ④家庭・地域との連携を図り、地域とともにある学校づくりを進める

本年度の重点

1. 資質能力の育成

- ・知的技能の獲得＝基礎学力・学習体力
- ・思考力・判断力・表現力の育成＝学習の基本・活用・応用
- ・学びに向かう人間性の伸長＝好奇心・向上心
- ・世界基準の思考・判断＝グローバル表現科を通して

2. 良好な人間関係の構築

五常の松の教えである「仁義礼智信」をもとにしながら道徳を要に人権教育を推進するとともに、お互いの個性を認め合い、良好な人間関係を育める支持的風土を持つ学級づくりを進める

3. 地域とともにある学校づくりの推進

地域に愛され、歴史と伝統のある三崎小学校であることを常に意識し、その期待に応えられるよう「三崎らしさを」大切にしつつ、家庭・地域と協働した学校づくりを進める